

令和2年4月10日

厚生労働大臣

加藤 勝信 殿

新型コロナウイルス感染症における  
抗体検査の速やかな普及に向けて

日本医師会

会長 横倉 義武

新型コロナウイルス感染症はワクチンも有効な治療薬もなく、さらに防護具やフェイスガードが不足している中で、医師をはじめとする医療従事者はPCR検査を行っています。

一方、採血で行う抗体検査はPCR検査と比べると医療従事者の感染リスクも大幅に軽減されます。

抗体検査はPCR検査と異なり、免疫獲得の確認や、集団免疫の把握等に適しています。

現在、横浜市立大学をはじめとする国内の大学や研究機関等で新型コロナウイルス感染症の抗体検査の開発が進められており、医薬品医療機器総合機構におかれましては、抗体検査の速やかな普及のため、現在も迅速・丁寧な対応が行われていると存じますが、さらなる対応をお願いいたします。